



11月に入り、夏日を記録する日もありましたが、多古中学校のイチョウの葉もようやく色づいてきましたね。図書室では、特別号でお知らせした読書月間の企画が始まっています。テストもある忙しい時期ですが、勉強に疲れた時には、読書でほっと一息ついてみてはいかがでしょうか。



英雄の伝記に人生を学ぶ



11月15日は、坂本龍馬の誕生日であり、命日でもあります。そこで今月は、日本の英雄とも呼べる坂本龍馬にちなみ、英雄の伝記の本を紹介したいと思います。

- ❑ 『NHK にんげん日本史 坂本龍馬 一日本の“洗濯”にいとむー』小西聖一：著 酒寄雅志：監修 理論社
剣術を磨くために江戸にやってきた龍馬は、アメリカのペリーが乗った巨大な黒船を目の当たりにします。龍馬は、開国したことで大混乱となった日本をどうにか立て直そうと、立ち上がります。武力より話し合い、国内より海外と、新しく広い世界を見ていた龍馬。これを読めば、今でも人気がある理由がわかります。
- ❑ 『劉備・関羽・張飛 三国志「蜀」の三英雄』桜井信夫：著 若菜等：イラスト 講談社
中国の楼桑村という田舎に、劉備玄徳という青年がいました。後漢王朝の政治は乱れ、反乱が各地で起こっていました。漢王朝を起こした劉氏の血をひいていた劉備は目ざめ、大男の関羽と腕のたつ槍の名手 張飛とともに、蜀の国をたてます。この三英雄の豪快な人生を味わってみてください。
- ❑ 『コミック版世界の伝記 ジャンヌ・ダルク』虎影 誠：漫画 安達正勝：監修 ポプラ社
イギリスとフランスが領土や王位をめぐる戦った百年戦争。その最中、13歳のジャンヌ・ダルクは「フランスを救え」という神のお告げを聞きます。信仰心の深かったジャンヌはその言葉通り、自ら戦いの先頭に立ち、兵士たちを率いてフランスを勝利に導きます。ジャンヌの悲しい最後に、心を打たれます。



4. 質の高い教育をみんなに

—すべての人々に対して質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を増やす—

男女差別なく、就学前から質の高い初等教育、中等教育、大学を含む高等教育が受けられる。技術的・職業的スキルを高めるために、実用的な基本能力を身につける。奨学金を増やし、国際協力による教育訓練で質の高い教員を増やす。SDGsの知識を習得する。

『すごいね！みんなの通学路』 ローズマリー・マカーニー：文 西田佳子：訳 西村書店

世界には、崖をはしごで登ったり、川をロープで渡ったりするような危険な道や、桶に入れた飲み水や机を持って、毎日学校に通う子供たちがいます。どうしてそんな大変な思いをしてまで、学校に通っているのでしょうか。この写真絵本の子供たちを見れば、わかるかもしれません。

この本、読んでみませんか？ (司書 唐津のおすすめ)

『ラブカは静かに弓を持つ』

安壇美緒：著

集英社



音楽小説とスパイ小説をかけ合わせた異色の物語として話題になった一冊です。著作権の管理会社に勤める主人公の橘が、疑惑のある音楽教室へ潜入調査をするところから始まります。幼い頃のある出来事からチェロと距離を置いていた橘ですが、講師の浅葉や教室の仲間との出会いで、チェロへの思いを思い出します。橘が最後にどちらを優先するのか。気になったあなたは、ぜひ読んでみてください。